



# 植樹祭本番に向け、準備着々

100日前イベント◇記念式典合同練習◇お野立所建設など取り組み進む

6月15日に開催される第59回全国植樹祭まであと2カ月半となりました。県では、3月8日、植樹祭の100日前イベントを北欧の杜公園内のパークセンターで開催し、植樹祭への関心を高めました。

また、天皇后両陛下の観覧のお席となるお野立所の建設が公園内で進められているほか、3月下旬には、市内の小中高生が役割を担う式典での演技や合唱、吹奏楽演奏などの合同練習も行われ、当日に向けた体制づくりが着々と整えられています。

## 100日前イベントでPR

第59回全国植樹祭は、2月12日、東京都で開かれた国土緑化推進機構の特別委員会で実施計画が承認され、式典会場の建設、出演者による合同練習など、開催に向けてハード・ソフト両面で着々と準備が進められています。

▲100日前イベントでは、本市ならではの自然の恵みを使った「山菜加工味自慢大会」も行われました



北秋田地域振興局では、同植樹祭への関心を段階的に高めようと、3月8日、100日前イベントを実施、自然環境の保護などを啓発する「米代川流域水と緑のネットワーク」活動と合わせ、市内外に植樹祭

をPRしました。パークセンターの玄関前で行われた開会式では、はじめに秋田市の舞踊サークル「ヤートセ秋田酔楽天」が、よさこい鳴子踊りを秋田音頭でアレンジした「ヤートセ踊り」の演奏でオープニングを飾りました。

センター内では、2階大ホールを会場に、大館北秋田森林組合が主催する「山菜加工味自慢大会」や、世界第2の高峰「K2」日本人初の女性登頂者となった秋田市出身の小松由佳さんの記念講演などが行われ、多くの来場者が詰め掛けました。

## 自然の恵み「山菜」を活用した料理味自慢大会も

このうち山菜加工味自慢大会は、オリジナルの料理レシピによる家庭料理の味自慢大会。北秋田地方ならではの「自然の恵み」を使った加工食品の開発をねらいとして企画されたものです。

大会には32人から46品目の応募

があり、料理レシピによる一次選考を経た7人9品目がこの日の二次選考に残りました。外観、食味アイデア、商品化の可能性などを基準に審査した結果、最優秀賞には鈴木グレンタさん（阿仁中村）、優秀賞に若松明子さん（大館市）、優秀賞に加藤久子さん（阿仁比立内）、審査委員長特別賞に織田力チエさん（根森田）が選ばれました。

また、記念講演の講師を務めた小松さんは中国とパキスタンの国境にある「K2」制覇の体験談を披露しながら、登山と大自然への熱き思いを語りました。

「ましよう」と、秋田の自然の豊かさを守り伝えることの大切さを訴えています。

油と苛性ソーダなどを利用して作る石けんづくりに真剣に取り組んでいます。

製品が使われます。お野立所は、秋田の伝統家屋に見られる「中門づくり」と呼ばれる様式で、茅葺きの入母屋式屋根が特徴。その両翼には来場者席を包み込むようにカーブを描いた「秋田杉の回廊」が設けられ、特別招待者席とつながっています。

22日には、鷹巣・鷹巣農林・合川・米内沢の4高校の吹奏楽部が、交流センターを練習会場にファンファレや「君が代」ほか式典曲を特訓し、演奏技術とチームワークを高めました。

## 建設がはじまった式典会場「シンボル」お野立所

また屋外では、秋田杉の太木にチェーンソーで彫刻するチェンソーアートの実演が行われ、何種類ものチェーンソーを器用に操り、ふくろのような形の仕上げる妙技に、多くのギャラリイが見入っていました。

## 小中高生は、本番に備え式典での役割を合同練習

お野立所は、植樹祭終了後も記念施設として残されることになっています。

また25日には市内5中学校の2年生325人が参加し、合唱（会場・鷹巣中学校）と介添え（鷹巣農林高校見本林）の練習をしました。



▲天皇后両陛下のお席となる「お野立所」の建設も進んでいます。茅葺きの入母屋式屋根が特徴。その両翼には「秋田杉の回廊」が設けられます



▲式典でのアトラクション「秋田の森・川・海～豊かなめぐみの循環」を練習する市内小学校の児童（3月24日、鷹巣体育館で）

## 式典の基本構成（実施計画より抜粋）

- 開会前（7:25～）
  - 招待者入場
  - イベントステージ
  - 環境デザイントークほか
- プロローグ（10:20～）
  - 水と緑のリレーメッセージ
  - 感謝状の贈呈ほか
- 式典（10:56～）
  - 天皇后両陛下御着
  - 三旗掲揚・国家斉唱
  - 主催者あいさつ
  - 天皇陛下のおことば
  - 表彰
  - 苗木の贈呈
  - 天皇后両陛下お手植え・お手撒き
  - 代表者記念植樹・三世代記念植樹
  - アトラクション
  - 大会宣言
  - リレーセレモニー
  - 天皇后両陛下ご退席
- エピローグ（12:05～）
  - 太鼓演奏ほか
  - 昼食
  - イベントステージ再開（～15:00）



▲全国植樹祭の意義や秋田の森づくりなどについて意見交換する小松由佳さん、寺田知事、岸部市長（100日前イベントで）